

令和8年7月24日（金）

次世代校務DXサミット

鹿児島県における クラウド型校務支援システムの共同調達

鹿児島県教育庁総務福利課教育DX推進室
指導主事 時任 志郎

I 本日の流れ

- はじめに
- 鹿児島での共同調達概要
- 構築段階
 - ・ 月1回の定例会の実施
 - ・ 導入スケジュールの想定と現実
 - ・ 外字統一化のゴールは遠かった・・・
- おわりに

鹿児島県について



次世代校務DX環境の整備ステータス(2026年4月時点※1)

次世代校務DX環境の整備に向けた工程	各工程における実施内容例	対象都道府県
	A.運用 クラウド型校務支援システムの 共同利用	【域内一部市町村で共同利用中も含む※2】 12自治体 ※2:現時点では一部ではあるものの、各自治体の現行の契約期間満了に伴い順次合流することを検討している状況を指す。
	B.構築 クラウド型校務支援システムの 共同調達	2自治体
	C.仕様検討 要件策定 RFI実施 費用按分シミュレーション RFP実施 次世代校務DX環境の運用に係る規定改訂 次世代校務DX環境の研修計画	8自治体
	D.計画策定 クラウド型校務支援システムの共同調達・共同利用に向けた計画の策定 (例:共同調達・共同利用の対象範囲、共同利用条件、調達方式、スケジュールの検討)	5自治体
	E.企画/構想立案 クラウド型校務支援システムの共同調達・共同利用に向けた基本方針の策定 (例:目指す姿の策定、共同調達・共同利用による次世代校務DX環境の全体像の定義)	3自治体
	F.現状把握 ※4 実態調査(教職員の業務) 実態調査(ネットワーク/セキュリティ) 実態調査(校務支援システム) 実態調査(帳票) 実態調査(教育情報セキュリティ等の規定) 実態調査(共同調達・共同利用の意向)	10自治体
	G.体制整備 ※4 協議会 ※3 の設置又は運営 ※3:次世代校務DX環境の整備を議論するための会議体を指す。	7自治体

※1:校務DX等加速化事業(事業II)において実施した都道府県教育委員会向けの調査を基に作成。

※4:必ずしも「体制整備」から「現状把握」に進むの順みだけでなく、「現状把握」と並行、もしくは「現状把握」を先行して、次世代校務DX環境の整備を議論するための「体制整備」に取り組んでいる場合も含む。

I 本日の流れ

- はじめに
- 鹿児島での共同調達概要
- 構築段階
 - ・ 月1回の定例会の実施
 - ・ 導入スケジュールの想定と現実
 - ・ 外字統一化のゴールは遠かった・・・
- おわりに

I 鹿児島県の概要

▶ 人口 約150万人

▶ 市町村数 43

▶ 学校の状況（公立小中義高特）

- 学校数 766校

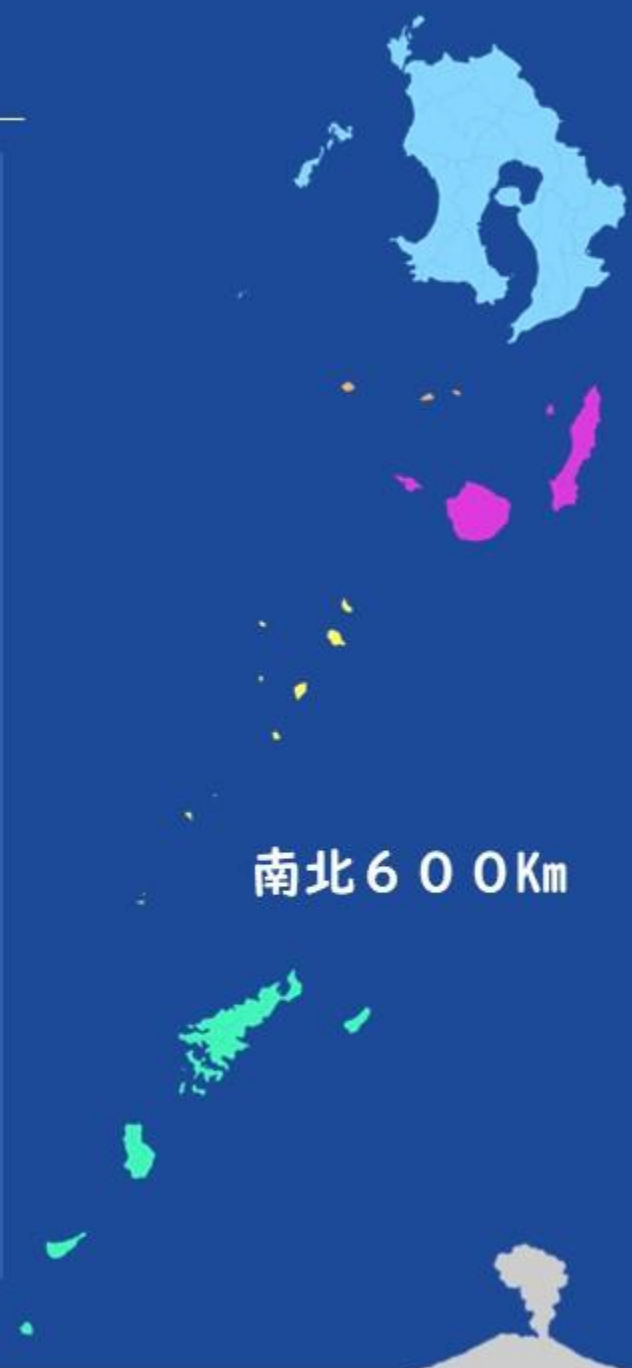
- 教職員数 約1万6千人

- 児童生徒数 約15万4千人

令和7年度 学校基本統計

▶ 校務支援システム導入状況

- 2種類混在（未導入あり）



I 本日の流れ

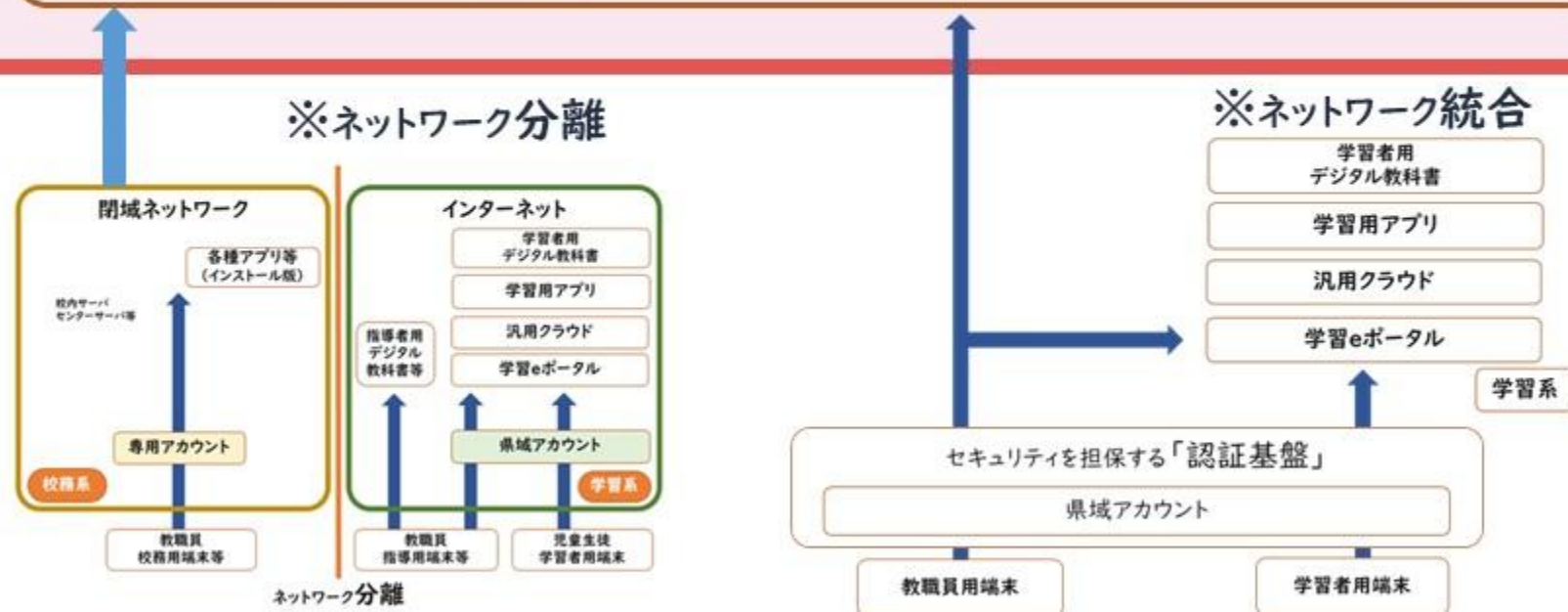
- はじめに
- **鹿児島での共同調達概要**
- 構築段階
 - ・ 月1回の定例会の実施
 - ・ 導入スケジュールの想定と現実
 - ・ 外字統一化のゴールは遠かった・・・
- おわりに

I 共同調達の範囲について

共同調達

各市町村で整備

校務支援システム (初期構築, 設定, 導入研修, ヘルプデスク, データ移行)



「クラウド型校務支援システム」以外は、
各市町村で整備（必要に応じて入札等を実施）

※ 「以外」→各市町村の環境から、利用するためのネットワークや端末等の設定変更等

I 費用負担について

初期費用 全自治体一律

運用費用 学校数（月額一律）

市町村によっては

各市町村調達 → 共同調達

約 4 割の費用削減

I 各自治体の導入・更新計画

R7.12時点

年度	R8	R9	R10	R11	R12 以降
自治体数 (累積割合)	13 (29.5%)	21 (77.3%)	7 (93.2%)	2 (97.7%)	1 (100%)

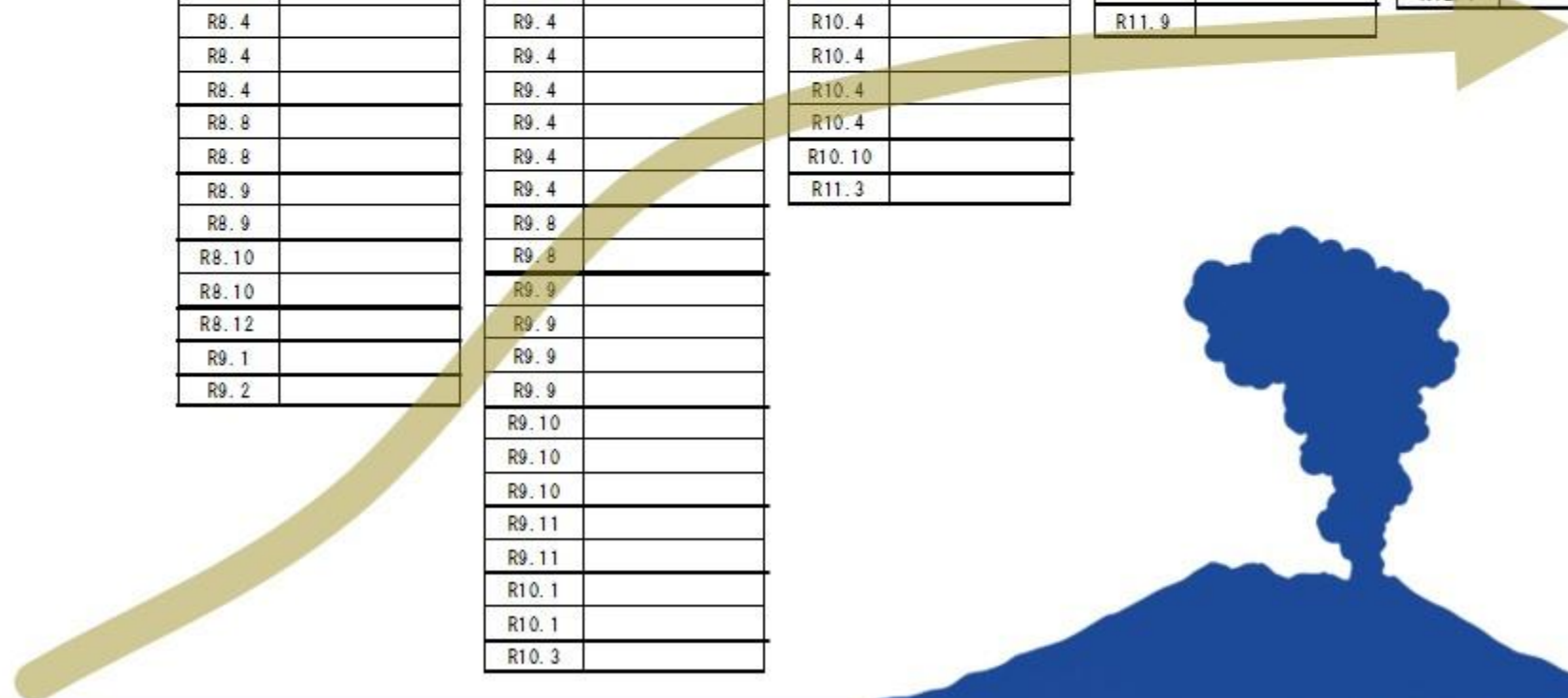
R8.4	
R8.4	
R8.4	
R8.4	
R8.8	
R8.8	
R8.9	
R8.9	
R8.10	
R8.10	
R8.12	
R9.1	
R9.2	

R9.4	
R9.4	
R9.4	
R9.4	
R9.4	
R9.4	
R9.8	
R9.8	
R9.9	
R9.9	
R9.9	
R9.9	
R9.10	
R9.10	
R9.10	
R9.11	
R9.11	
R10.1	
R10.1	
R10.3	

R10.4	
R10.4	
R10.4	
R10.4	
R10.4	
R10.10	
R11.3	

R11.4	
R11.9	

R12.4	
-------	--



I 本日の流れ

- はじめに
- 鹿児島での共同調達概要
- 構築段階**
 - ・ 月1回の定例会の実施
 - ・ 導入スケジュールの想定と現実
 - ・ 外字統一化のゴールは遠かった・・・
- おわりに

I 定例会の実施（月1回）

県

校務支援システム
開発企業

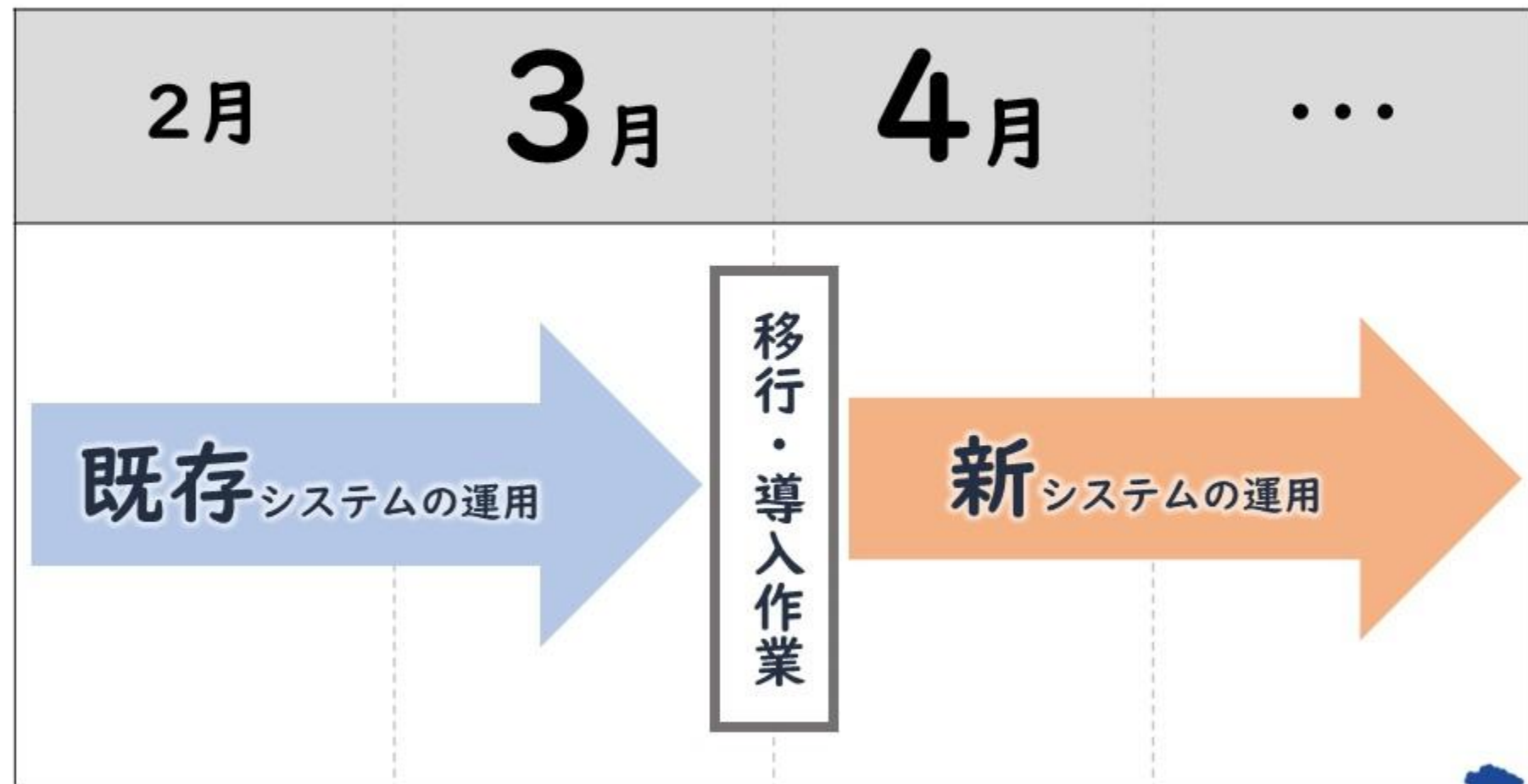
課題整理
各市町村の導入検討状況
(導入時期、ネットワーク、認証、その他)

導入支援・保守
ゼロトラスト
伴走支援担当企業

ダッシュボード
データ利活用
支援担当企業

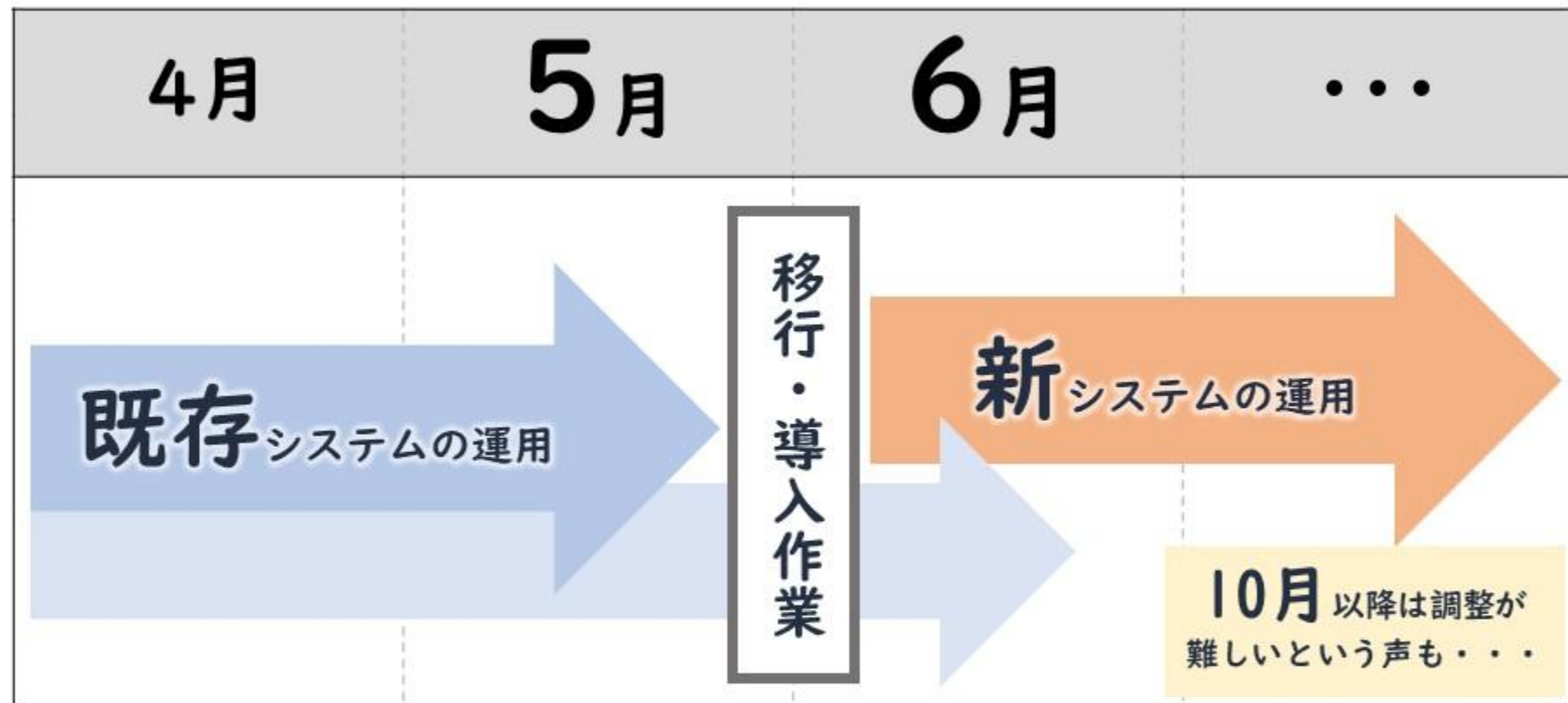
Ⅰ 導入スケジュールの想定と現実

【当初の想定】 新システムで新年度スタート！



Ⅰ 導入スケジュールの想定と現実

【実際】（3学期制の場合）



校務への影響を最小限にするための、丁寧な調整が必要

！外字統一化のゴールは遠かった・・・

【新システム】

「IPAmj明朝フォント」での対応



- 県で統一することにより、転校、進学時
データ連携がしやすくなる



！外字統一化のゴールは遠かった・・・

【新システム】

「IPAmj明朝フォント」での対応



- 県で統一することにより、転校、進学時
データ連携がしやすくなる

高校入試など、既存の仕組みや他のシステムとの連携を進める必要がある

I 本日の流れ

- はじめに
- 鹿児島での共同調達概要
- 構築段階
 - ・ 月1回の定例会の実施
 - ・ 導入スケジュールの想定と現実
 - ・ 外字統一化のゴールは遠かった・・・
- おわりに

「進めること」が前提の各市町村担当者の意見

- 導入・管理コストの削減や、教職員の異動に対応できる環境が作れるのはいい。
- 次世代校務環境の構築に向けて、他のシステム等と一緒に検討していきたい。
- 共同調達に参加し、勉強していきたい。
- △ 有料ライセンスの購入等、今後、何が必要となるのかわからない。
- △ なかなか勉強する時間がない。
- △ 細やかな説明と助言がほしい。